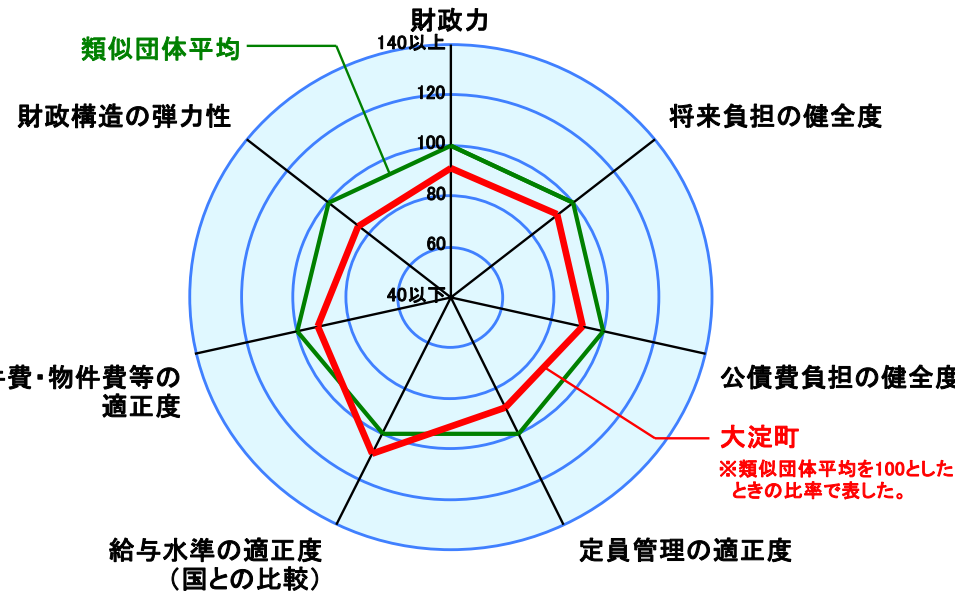
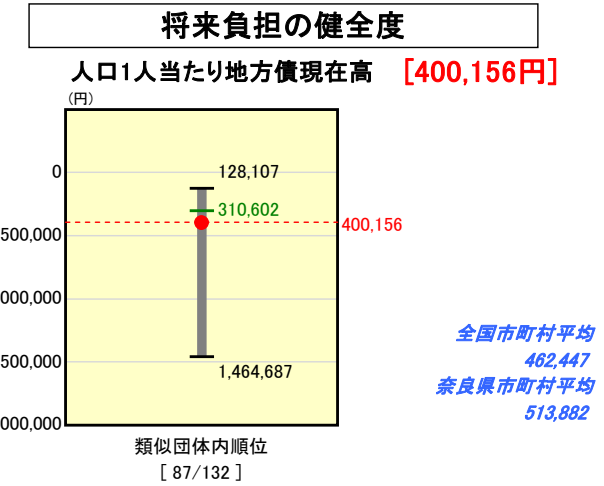
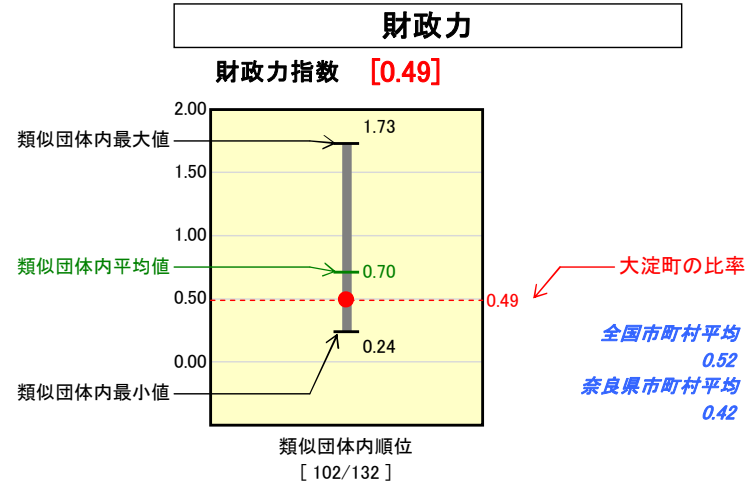


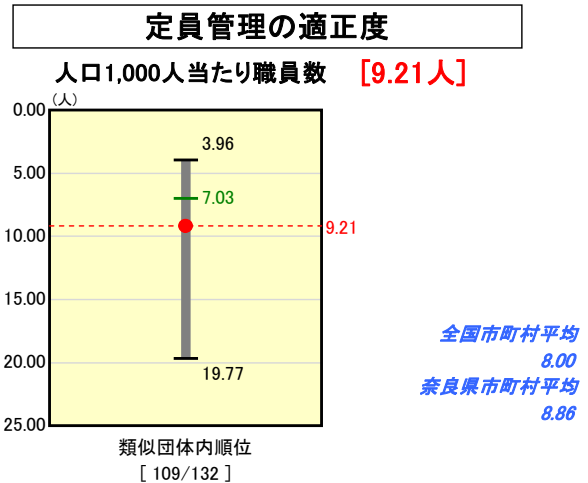
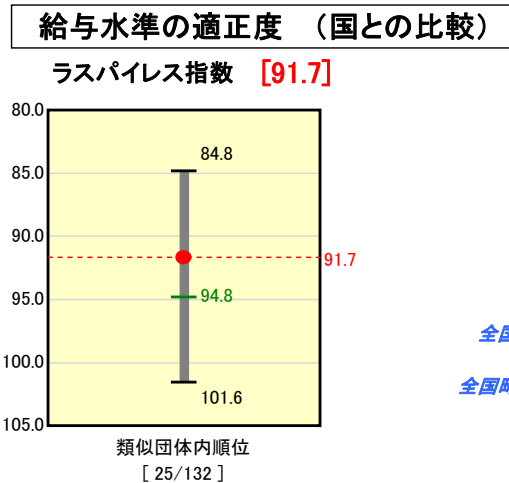
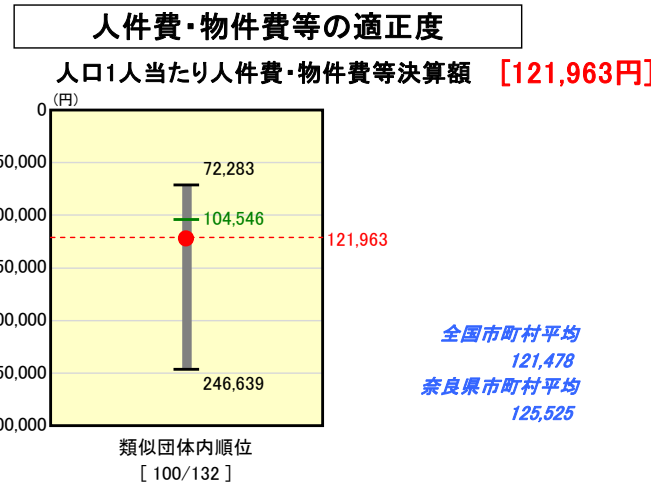
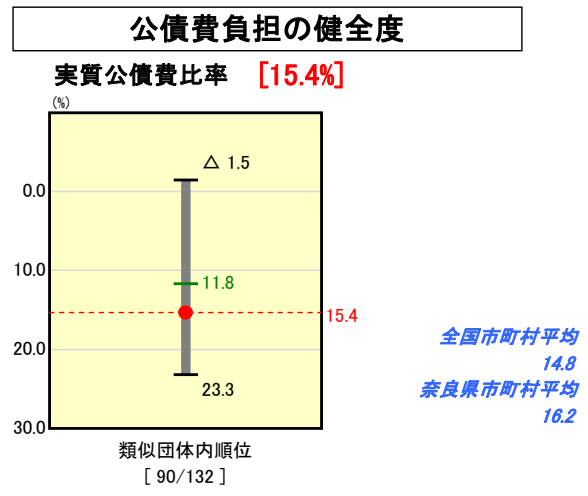
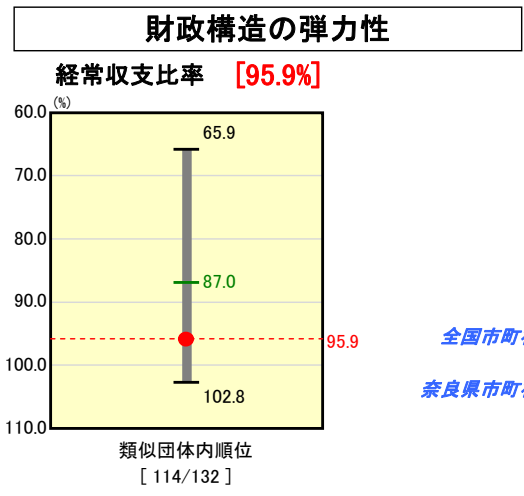
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

奈良県 大淀町

人口	20,517人	(H18.3.31現在)
面積	38.06	km ²
歳入総額	8,291,822	千円
歳出総額	8,054,684	千円
実質収支	45,923	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
類似団体平均を下回っている。今後は財政健全化計画に基づき、増収減支などの自主財源の確保に努めるとともに、投資的経費を抑制するなど歳出の見直しを行い財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
類似団体平均より低い。扶助費などの増加及び交付税等の減少により比率は年々悪化している。引き続き行財政改革の取り組みを通じて、経常的経費の削減や人件費の削減、公共施設の管理運営の見直し等に努めるとともに、町税などの自主財源の確保に努め水準を回復していく。

実質公債比率
普通建設事業費に係る起債の元利償還等に伴い、類似団体平均を上回っている。平成18年度に文化会館整備にかかる償還が終了することに伴い減少に転ずると見込まれるが、今後とも新規発行の抑制に努めていく。

ラスパイレズ指数
全国町村平均や類似団体平均と比較するとやや低いが、概ね適正な水準といえる。学歴別にみると大卒者の水準が低いのがこれは初任給基準が低いことによるもので、現状で根本的な改善を望むことは困難である。今後、定員適正化計画に基づき職員数の削減を図ることにより構成職員の平均年齢の上昇が予測されるが、適正な給与水準を維持できるよう努める。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均よりやや上回っているが、平成18年度で文化会館整備にかかる償還が終了することに伴い公債費が大幅に減少するため、改善する見込みである。今後、後年度負担となるような事業は充分精査し実施していく。

人口1000人あたり職員数
類似団体平均を上回っている。今後、定員適正化計画に基づき職員数の削減を図ることにより適正な水準を維持できるよう努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均をやや上回っているが、概ね適正な水準といえる。主要な要因は物件費の委託料となっており、今後は、これらの経費について抑制していく必要がある。